



パソコンソフトの「ワード」や「エクセル」などを扱う能力を証明する国際資格の「マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト」(MOS)。今月

下旬に米カリフォルニアで開かれるMOS世界学生大会の「パワーポイント」部門に、大手前大学1年の山口雪さん(18)と西宮市に日本代表として出場する。県内からは初めての選出だ。

高校2年になるまで、ほとんどパソコンを使わなかった。それが高校の方針でMOSの認定試験を受けることに。「最初は分からないことばかり

PC腕磨き 日本代表に

で、気が乗らなかつた」と振り返る。夏の暑さが転機になった。精密機器を熱から守るため、学校のパソコン室はいつも冷房が効いている。放課後、涼むために通い、「ゲームで遊ぶような感覚」でパソコンに向かううち、成績があがっていった。

認定試験は、スライドの編集やグラフの作成などで、速さと正確性が問われる。受験者のうち、世界大会への出場を希望する上位10人が、小論文や面接による代表選考に進む。

山口さんは高3だった昨年5月に受験。資格を取得できただけでなく、世界大会の代表も射止め、「衝撃でした。家族も、友達も、バイト先の店長もみんな信じてくれませんでした」。

世界大会は現地時間の27日から。山口さんは「自分が納得できる結果を残したい」と話し、長いときは1日4時間パソコンに向き合って決戦に備えている。